



日吉農林公社



日吉夢産地

加工施設の有効稼働を図る。更に、広見農業公社および日吉農林公社の経営基盤の健全化と農業生産組合や集落営農組織等の育成強化に努めるとともに、環境保全型農業の振興を図るため、森の三角ぼうし・夢産地を中心とした地産地消運動を積極的に推進する。
林業においては、引き続き森林整備地域活動支援交付金制度の実

施により山林の有効的な施業計画を作成し、水土保全林・森林と人の共生林・資源の循環利用林等、それぞれの機能に応じた森林資源の整備促進を図る。併せて、森林施業の基盤となる林道網の整備および林業従事者の確保対策を積極的に推進するとともに、森林組合の自立強化を促進するため「南予流域林業活性化センター」と連携を密にしながら日吉森林組合と南予森林組合の合併を促進し、中核組合としての機能強化が発揮できるよう指導・育成に努める。また、継続して実施している経営体育成基盤整備事業、農村振興総合整備事業、中山間地域総合整備事業およびふるさと農道緊急整備事業に加え、本年度から新規に里地棚田保全整備事業に取り組みなど、農業農村整備事業を積極的に推進し、農業生産基盤および生活環境基盤の整備充実に努める。

(2) 商工観光部門

近年の相次ぐ大型店舗の進出等により、町内の商店街は大変厳しい状況下にあるが、引き続き商工会組織の育成強化に努めるとともに商工会合併に向けての協議を進めていく。また、商店街の活性化と集客対策の取り組みを促進し、「活力と賑わいのある町づくり」を進めるため、今年度も、引き続き町単独事業として「がんばる商店街支援事業」を実施する。
企業誘致については、近年の厳しい社会経済状況にもかかわらず、継続して情報を発信した町の姿勢



街角ギャラリー「なんでも館」

が実り、昨年度は愛治地区に企業の立地を見、地域雇用の創出に寄与することができた。今年度も引き続き、情報の発信、収集に重点を置き、常に行動が起こせる体制を堅持する。また、地場産品と観光資源の融合により、農林業と商工業が一体となった総合的な取組みを展開するとともに、観光開発や交流事業を推進し、活力ある地域づくりを推進する。

観光については、平成16年度「自然公園等整備事業」の採択を受け、国および県の支援で成川野営場（キャンプ場）の整備に着手し、今年度から2年間の継続事業として実施するとともに、成川渓谷等の観光資源の効果的な活用を図りながら、観光行政のなご一層の活性化に努める。

更に、「近永アルクール工場跡地を今後どのように有効利用していくか」この問題は、これからの鬼北町の将来にとって、最も大きな

課題のひとつと考えている。早急に「アルクール工場跡地利用対策協議会」を設置し、産業振興・雇用対策・商工業の活性化・公共施設等の整備など、様々な選択肢を視野に置き、決して結論を急がず有効利用について検討・協議を進める。

2 快適な環境の整備

(1) 道路交通部門

道路は、産業経済活動や住民生活を支える最も基本となる施設であり、社会資本の中でも最優先して整備しなければならない根幹的施設である。合併により、経済圏や日常生活圏の拡大など、近年の社会環境の変化の中で、道路の果たす役割がますます重要となっていることに鑑み、高速道路時代に即応した国道・県道等の広域幹線道路網の整備を促進する。また、火災や急病等における緊急車両を始め、高齢社会における介護車両等の円滑な交通に支障を来たしている道路や住民生活に密着した生活道路等の整備充実に努めるとともに、高齢者、児童、障害者など交通弱者に配慮した歩道の整備と安全施設の充実に努める。

(2) 生活環境部門

「環境の世紀」を迎えた今日、国際レベルで持続的発展が可能な循環型社会の構築に努めていくことが求められている。当町においても、生活環境の保全、廃棄物の適正な処理、循環型社会等の推進を図り、